

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京事業部会議事内容について

JESCOでは、8月31日及び10月2日に、専門の知識と経験を有する学識経験者で構成されるポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会東京事業部会（主査：永田勝也早稲田大学理工学部教授）を開催し、東京PCB廃棄物処理施設におけるPCB漏洩事故に関する改善実施状況報告、安全確認試験結果等についてご検討いただきました。

平成18年度第3回東京事業部会（平成18年8月31日開催）

検討の概要

8月3日付で取りまとめを行った改善実施状況報告書について説明をいたしました。また、取りまとめの過程で実施した第三者点検について、千代田アドバンスト・ソリューションズ(株)から説明を行いました。

また、水熱分解設備の定期検査結果について、事務局から前回の事業部会における中間報告に引き続き最終報告を行いました。

その他、安全確認のための性能試験について、及び前回の事業部会において提出を要請された事故発生当時の排気モニタリングデータ等について、事務局から説明を行いました。

委員からは次のようなご指摘がありました。

東京PCB廃棄物処理事業における改善実施状況について

- ・ PCB受入タンクの空気抜きラインに活性炭フィルタを追加しているが、設計時の計算根拠と、追加設置する計算根拠を示すこと。
- ・ 排気のモニタリングポイントの変更に関して、データをどのように整理を行い、どのポイントでモニタリングを行うかという全体の戦略をJESCOとして明確にすること。また、排気をシャットダウンした場合の施設全体への影響について、検討できる資料を作成すること。
- ・ 第三者点検において実施したFault Tree解析においてガス検知器の新規設置を指摘しているが、当初設計時に実施したFault Tree解析での考え方について整理すること。
- ・ 常にバックアップでモニタリングが確認できる体制をとることなど、モニタリングに対する信頼度を増していくやり方について検討すること。

ご指摘いただいた点については、次回の事業部会までに考え方を整理して回答することとしました。

平成 18 年度第 4 回東京事業部会（平成 18 年 10 月 2 日開催）

検討の概要

8 月から 9 月にかけて実施した施設稼働に係る安全確認試験の結果報告書、東京 PCB 廃棄物処理施設における排気の自動遮断対策等について説明いたしました。

委員からは次のようなご指摘がありました。

施設稼働に係る安全確認試験について

- ・今回行った教育内容等については、きちんと整理し、他の事業所等にも必要に応じて展開して、今後活かすようにすること。
- ・水熱分解反応での立ち上運転時においては濃度が高く不合格となる可能性がある点について、その理由・条件等を整理、解析して運転管理に活かすようにすること。
- ・最近、東京事業所の事故について報道があったようだが、JESCO からの情報はわかりやすい形で公開するよう努力すること。

排気の自動遮断対策について

- ・インターロック停止した際の影響について、PCB 濃度、停止後の温度降下、時間・継続性等を踏まえ、空間（レベル）・機器・操作の組み合わせ等を整理し、さらに精査して検討すること。
- ・オンラインモニタリングをインターロック管理に使用するには慎重に考えるべきで、今回、数ヶ月かけて検討するということなので、いろいろやってみてどれが良いか報告すること。その際、測定をどういう意図で実施するのか、遮断の考え方と合わせて、使用できる値を測定するように注意すること。

今後及び他事業所に活かすための整理、展開に関し、ご指摘いただいた点については、ご指摘の方向で進めることにします。排気の自動遮断対策に関しては、詳細な検討結果を次回事業部会にて報告することといたしました。